



# 芝小だより

## 12月号

令和4年11月30日  
 発行者 港区立芝小学校  
 〒105-0014  
 港区芝2-21-3  
[TEL:03-3456-3072](tel:03-3456-3072)  
[FAX:03-3456-3071](tel:03-3456-3071)

### 「見つめなおそう、自分のこと、友達のこと」

校長 川原 哲郎

先日の音楽会には、多くの保護者の皆様に御来校いただき、子供たちの歌や合奏に大きな拍手をいただきありがとうございました。子供たちの成長を感じていただけたのではないのでしょうか。子供たちが、音楽の授業で学んだこと、学級や学年で練習したことなどを余すことなく発揮し、達成感を得ることができた音楽会だったと思います。

さて、12月4日～10日は「人権週間」です。毎年、12月10日の「世界人権デー」を最終日とする1週間は日本では「人権週間」としてしています。芝小学校でも、11月28日～12月2日を「芝小人権週間」として、特に人権について考える活動を行っています。11月28日(月)の全校朝会の時間を使って人権集会を行い、各学級で作った人権標語の発表や飼育環境委員会によるパワーポイントを使った人権に関する発表などを行いました。校長からも子供たちに向けて、「もう一度、自分のこと、友達のことを見つめなおしてみよう。」という話をしました。「自分の好きなところはどんなところか考えてみること」「友達のすてきなところはどんなところか考えてみること」「自分と友達の違うところはどんなところか考えてみること」そうすると、一人一人の「個性」が見えてきます。みんなそれぞれ違うところを認め合いながら、自分や友達のいいところをたくさん見付けられるようになってほしいと思っています。大切なのは、「自分も友達も大切にすること」です。

私たちは皆、自分の存在と尊厳が守られ、自由に幸せを追い求めることができる権利「人権」をもって生まれてきています。しかし、いじめや虐待といった、他者の人権を考えないような問題が後を絶ちません。私たちは、学校、地域や職場、家庭など多くの人とかかわり合いをもちながら生活しています。一人一人が自分らしく生き、他の人とともに皆が幸せに生きていくためには、互いの個性を尊重し、認め合うことが必要です。私たちにとって大切なことは、誰もが幸せに暮らせるよう、互いを思いやり、生活習慣・文化・価値観などの多様性や人権などを尊重する社会をつかっていくことです。世の中には、解決しなくてはならない人権課題が数多くあります。

本校でも、「いじめ問題」をはじめ、さまざまな人権課題について学ぶ機会をつくり、自分の大切さとともに、他の人の大切さを認めることができ、人権課題に関わる差別意識の解消を目指せる人権感覚もち、自ら行動することができる児童を育てていきたいと考えています。

**「誰か」のこと じゃない。**  **人権週間**  
12月4日～10日

### 12月生活目標「学校をきれいにしよう」

#### 「掃除の時間を大切にしよう」

月、火、木、金曜日のお昼の時間に掃除の時間があります。低学年と高学年で時間は異なりますが、どのクラスも教室や廊下、特別教室の持ち場があり、ほうきや雑巾を使って掃除をします。「掃除は四角く行う」と聞いたことがありますが、埃やごみは隅に溜まりやすいです。ほうきを正しく使って隅のごみをかきだし、棚の上やロッカーは固くしぼった濡れ雑巾で四角く拭くと埃がよく取れ、きれいになります。毎日丁寧に行うと、汚れが目立たず、掃除の意味はあるのかな、と思ってしまうのですが、毎日掃除をすることできれいに保つことができます。

今月は1年の最後の月です。23日には大掃除が予定されています。学校の隅々まできれいに掃除をし、気持ちよく新年を迎えられるようにしましょう。

(生活指導部 岩田 寛子)

### 学びの部屋

#### ～4年生 育ちゆく体～

11月に4年生の保健の授業を実施しました。4年生の保健では、思春期に女子は胸が膨らむこと、初経があること、男子では精通があることなどを学びます。教科書のイラストを見て、始めは多くの児童が顔をしかめて「見たくない!」と口にしました。しかし、皆の将来に関わる大切なことだから、わからないことや不安なことを皆で共有して、正しい知識を身に付けよう、と話をする、児童は安心して学習に取り組んでいました。

授業後にとったアンケートでは、93%の児童が「自分の体について勉強するのは大切なことだと思った」と回答しました。今後も保健の学習を通じて自分の体を理解し、大切にしようと思える心が育まれるよう指導していきます。

(養護教諭 村上 咲)